

1 皇宮護衛官採用試験（高卒程度試験）

(1) 業務内容

護衛署等に配置され、天皇皇后両陛下や皇族各殿下の護衛と皇居、御所等の警備に従事します。

(2) 試験の区分・採用予定数

護衛官 約20名

※護衛官（社会人）区分は休止。

(3) 受験資格

護衛官

ア 平成30年4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して5年を経過していない者及び平成31年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者

イ 人事院がアに掲げる者に準ずると認める者

(4) 試験日程等

① 第1次試験

試験種目 基礎能力試験（多肢選択式）、作文試験

試験日 9月23日（日）

② 第1次試験合格者発表 10月10日（水）

③ 第2次試験

試験種目 人物試験、身体検査、身体測定、体力検査

試験日 10月22日（月）から26日（金）までの間の指定する日

④ 最終合格者発表 11月20日（火）

(5) 申込先 皇宮警察本部

【参考】平成29年度実施状況（「護衛官」区分）

申込者数 520人（122人） 最終合格者数 12人（4人）

（注）（ ）内の数字は、女性を内数で示す。

2 刑務官採用試験

(1) 業務内容

刑務所、少年刑務所又は拘置所に勤務し、被収容者に対し、日常生活の指導、職業訓練指導、悩みごとに対する指導などを行うとともに、刑務所等の保安警備の任に当たります。

(2) 試験の区分・採用予定数

刑務A	約435名	刑務B	約140名
刑務A（社会人）	約65名	刑務B（社会人）	約10名
刑務A（武道）	約125名	刑務B（武道）	約15名

（注）いずれの区分についても、Aは男子、Bは女子に限る。

(3) 受験資格

- ① 刑務A及び刑務A（武道）
平成元年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた男子
- ② 刑務B及び刑務B（武道）
平成元年4月2日から平成13年4月1日までに生まれた女子
- ③ 刑務A（社会人）
昭和53年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた男子
- ④ 刑務B（社会人）
昭和53年4月2日から平成元年4月1日までに生まれた女子

(4) 試験日程等

- ① 第1次試験
試験種目 基礎能力試験（多肢選択式）、作文試験
実技試験（刑務A（武道）及び刑務B（武道）に限る。）
試験日 9月16日（日）
- ② 第1次試験合格者発表 10月10日（水）
- ③ 第2次試験
試験種目 人物試験、身体検査、身体測定
体力検査（刑務A（武道）及び刑務B（武道）を除く。）
試験日 10月18日（木）から24日（水）までの間の指定する日
- ④ 最終合格者発表 11月20日（火）

(5) 申込先 各矯正管区及び沖縄刑務所

【参考】平成29年度実施状況

試験の区分	申込者数（人）	最終合格者数（人）
刑務A（男子）	3,501	549
刑務B（女子）	844	198
刑務A（社会人）（男子）	419	63
刑務B（社会人）（女子）	57	14
刑務A（武道）（男子）	370	132
刑務B（武道）（女子）	72	36
計	5,263（973）	992（248）

（注）計欄の（ ）内の数字は、女性を内数で示す。

3 入国警備官採用試験

(1) 業務内容

全国の地方入国管理局・同支局・同出張所、各入国者収容所入国管理センターにおいて次のような業務に従事します。

- ・不法入国者や不法滞在者などの違反事件の調査
- ・収容令書又は退去強制令書を発付された外国人の摘発、違反調査、収容、護送、送還
- ・入国者収容所入国管理センターなどにおける被収容者の処遇、施設の警備

(2) 試験の区分・採用予定数

警備官 約60名
警備官（社会人） 若干名

(3) 受験資格

① 警備官

- ア 平成30年4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して5年を経過していない者及び平成31年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
- イ 人事院がアに掲げる者に準ずると認める者

② 警備官（社会人）

昭和53年4月2日以降に生まれた者（①のアに規定する期間が経過した者及び人事院が当該者に準ずると認める者に限る。）

(4) 試験日程等

① 第1次試験

試験種目 基礎能力試験（多肢選択式）、作文試験
試験日 9月23日（日）

② 第1次試験合格者発表 10月10日（水）

③ 第2次試験

試験種目 人物試験、身体検査、身体測定、体力検査
試験日 10月23日（火）から25日（木）までの間の指定する日

④ 最終合格者発表 11月20日（火）

(5) 申込先 各地方入国管理局及び福岡入国管理局那覇支局

【参考】平成29年度実施状況

試験の区分	申込者数（人）	最終合格者数（人）
警備官	1,743（450）	74（15）
警備官（社会人）	450（66）	5（0）
計	2,193（516）	79（15）

（注）（ ）内の数字は、女性を内数で示す。

4 航空保安大学校学生採用試験

(1) 業務内容

航空保安大学校における2年間の研修（全寮制）終了後、全国各地の航空交通管制部、空港において次の業務に従事します。

- 航空情報科 航空通信、航空情報の提供及び運航管理などの業務
- 航空電子科 航空管制システムの運用、管理などの業務

(2) 試験の区分・採用予定数

- 航空情報科 約25名
- 航空電子科 約30名

(3) 受験資格（各区分共通）

- ア 平成30年4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して3年を経過していない者及び平成31年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
- イ 人事院がアに掲げる者と同等の資格があると認める者

(4) 試験日程等

① 第1次試験

- 試験種目 基礎能力試験（多肢選択式）、学科試験（多肢選択式）
- 試験日 9月23日（日）

② 第1次試験合格者発表 10月10日（水）

③ 第2次試験

- 試験種目 人物試験、身体検査、身体測定
- 試験日 11月12日（月）から15日（木）までの間の指定する日

④ 最終合格者発表 12月18日（火）

(5) 申込先 航空保安大学校

【参考】平成29年度実施状況

試験の区分	申込者数（人）	最終合格者数（人）
航空情報科	365（164）	37（15）
航空電子科	301（49）	65（14）
計	666（213）	102（29）

（注）（ ）内の数字は、女性を内数で示す。

5 海上保安学校学生採用試験

(1) 業務内容

海上保安学校において教育を受けたのち、各海上保安本部等に配置され、次の業務に従事します。

- 船舶運航システム課程（教育期間1年）
巡視船等に乘組み、領海警備、海難救助、海上犯罪の取締りなどの業務のほか、船舶の運航・整備（航海コース）、機関の運転・整備（機関コース）、経理・補給・庶務・調理(主計コース)の業務に従事します。
- 航空課程（教育期間1年）
一定期間の研修を受けた後、飛行機又はヘリコプターの操縦士として、領海警備、海難救助、海上犯罪の取締りなどの業務に従事します。
- 情報システム課程（教育期間2年）
巡視船等に乘組み、領海警備、海難救助、海上犯罪の取締りなどの業務や通信機器の運用管理の業務に従事したり、海上保安部交通課、海上交通センター等に勤務し、航路標識の管理運営等の業務に従事します。
- 管制課程（教育期間2年）
主に、運用管制官として、海上交通センター等において、航行船舶の動静を把握し、船舶の安全な航行に必要な情報の提供や、大型船の航路入航間隔の調整等を行う業務に従事します。
- 海洋科学課程（教育期間1年）
本庁、管区本部等に勤務し、海洋観測、測量、海図の作成等の業務に従事します。

(2) 試験の区分・採用予定数

船舶運航システム課程	約 180名
航空課程	約 25名
情報システム課程	約 60名
管制課程	約 20名
海洋科学課程	約 15名

(3) 受験資格（各区分共通）

- ア 平成30年4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して5年を経過していない者及び平成31年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
- イ 人事院がアに掲げる者と同等の資格があると認める者

(4) 試験日程等

[船舶運航システム課程、情報システム課程、管制課程、海洋科学課程]

① 第1次試験

試験種目 ・ 船舶運航システム課程
基礎能力試験（多肢選択式）、作文試験

- ・情報システム課程、管制課程及び海洋科学課程
基礎能力試験(多肢選択式)、学科試験(多肢選択式)

試験日 9月23日(日)

② 第1次試験合格者発表 10月10日(水)

③ 第2次試験

試験種目 人物試験、身体検査、身体測定、体力検査

試験日 10月16日(火)から25日(木)までの間の指定する日

④ 最終合格者発表 11月20日(火)

〔航空課程〕

① 第1次試験

試験種目 基礎能力試験(多肢選択式)、学科試験(多肢選択式)

試験日 9月23日(日)

② 第1次試験合格者発表 10月10日(水)

③ 第2次試験

試験種目 身体検査(精神及び神経系検査を除く。)、身体測定、体力検査

試験日 10月16日(火)から25日(木)までの間の指定する2日

④ 第2次試験合格者発表 11月20日(火)

⑤ 第3次試験

試験種目 人物試験、身体検査(精神及び神経系検査)、適性検査

試験日 12月1日(土)から11日(火)までの間の指定する2日

⑥ 最終合格者発表 平成31年1月17日(木)

(5) 申込先 各管区海上保安本部、大阪海上保安監部及び主要海上保安部

【参考】平成29年度実施状況

試験の区分	申込者数(人)	最終合格者数(人)
船舶運航システム課程	3,364(381)	400(40)
航空課程	179(18)	14(3)
情報システム課程	185(31)	68(16)
管制課程	97(40)	31(17)
海洋科学課程	84(21)	19(6)
計	3,909(491)	532(82)

(注) ()内の数字は、女性を内数で示す。

6 気象大学校学生採用試験

(1) 業務内容

気象大学校において4年間の教育を受けたのち、気象庁本庁又は全国各地の気象台などに配属され、観測、調査、予報及び研究などの気象業務に従事します。

(2) 採用予定数 約15名

(3) 受験資格

ア 平成30年4月1日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して2年を経過していない者及び平成31年3月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者

イ 人事院がアに掲げる者と同等の資格があると認める者

(4) 試験日程等

① 第1次試験

試験種目 学科試験(多肢選択式)、作文試験、基礎能力試験(多肢選択式)
学科試験(記述式)

試験日 10月27日(土)及び28日(日)

② 第1次試験合格者発表 12月7日(金)

③ 第2次試験

試験種目 人物試験、身体検査

試験日 12月14日(金)

④ 最終合格者発表 平成31年1月17日(木)

(5) 申込先 各管区気象台(札幌、仙台、東京、大阪、福岡)及び沖縄気象台

【参考】平成29年度実施状況

申込者数 404人(105人) 最終合格者数 44人(6人)

(注) ()内の数字は、女性を内数で示す。

7 海上保安大学校学生採用試験

(1) 業務内容

海上保安大学校において、本科（４年間）を卒業後、専攻科（６か月）及び研修科国際業務課程（３か月）を経たのち、巡視船等に初級幹部職員として乗組み、領海警備、海難救助、海上犯罪の取締りなどの業務に従事します。

(2) 採用予定数 約 60 名

(3) 受験資格

- ア 平成 30 年 4 月 1 日において高等学校又は中等教育学校を卒業した日の翌日から起算して 2 年を経過していない者及び平成 31 年 3 月までに高等学校又は中等教育学校を卒業する見込みの者
- イ 人事院がアに掲げる者と同等の資格があると認める者

(4) 試験日程等

① 第 1 次試験

試験種目 学科試験（多肢選択式）、作文試験、基礎能力試験（多肢選択式）
学科試験（記述式）
試験日 10 月 27 日（土）及び 28 日（日）

② 第 1 次試験合格者発表 12 月 7 日（金）

③ 第 2 次試験

試験種目 人物試験、身体検査、身体測定、体力検査
試験日 12 月 14 日（金）

④ 最終合格者発表 平成 31 年 1 月 17 日（木）

(5) 申込先 各管区海上保安本部、大阪海上保安監部及び主要海上保安部

【参考】平成 29 年度実施状況

申込者数 583 人（106 人） 最終合格者数 81 人（20 人）
（注）（ ）内の数字は、女性を内数で示す。